

イワウチワ（岩団扇） 一帯に群れ咲く

B ランク

はなかめやま
花瓶山（八溝山系）

【山行日】 2021年3月31日（水曜日） 天気 晴れ（5月の陽気）

【交通・費用】 マイカー6名 1400円/一人

【参加者】 CL: Y A K K K T の6名

【ルート】 ウツボ沢出合（駐車場）～如来沢→花瓶沢土場～県境尾根分岐～花瓶山（692m）
～大倉尾根～向山（548m）→イワウチワ群生地→ウツボ沢出合（駐車場）

※行動時間：5時間10分 太郎・次郎ブナは省略

<交通アクセス>

カーナビには住所検索で「栃木県/大田原市/如来 3272 番地」でエントリする。若しくは
国道 293 号→国道 294 号→（笠石神社）県道 343 号（蛭畑須佐木線）→県道 461 号→
（洲崎神社）県道 13 号（大子黒羽線）→如来入口になる。

明神トンネル過ぎたら「バス停」見逃さない事、直ぐ如来入口「花瓶山」標識がある。



●コースのポイント

- ①如来入口から集落最後に「花瓶山駐車場」の看板があり 10 数台駐車可能。しかし、車のすれ違いは難しい林道をウツボ沢出合（駐車場）まで進めると 40 分短縮できる。
- ②コース取りは時計回りを推奨する。最初にイワイウチワの群落地を見てしまうとあとはアップダウンの繰り返しでイヤになってしまう。それに最初は急登なのでキツイ。

- トイレは駐車場そこら中に可能で心配ないが、できればコンビニ「ヤマザキショップ」で済ませておく。

- 山野草：花の時期は林道脇にはキクザキイチゲ、ミヤマケマン、ネコノメソウなど、向山に向かう途中にはカタクリの群生地があちこちに見られ、最後は目もくれなくなるほど群生している。三畳の人工的な植生と違い自然に咲くカタクリを鑑賞できる。

- 山菜：この時期はもう一つの楽しみに「フキノトウ」が自生しているので、ナイフで摘み取っていくと、天ぷらやフキミソの食材が確保できる。或る人は 30 個確保。

●帰り道の楽しみ

293 号沿いに関東最大規模のカタクリ群生地があるので「カタクリ山公園」に立ち寄るといい。入場料無料だが、車一台につき駐車料金 500 円がかかる。でもそれだけの価値がある。ミズバショウ群生地とショウジョウバカマ群生地がある。これほどの規模は生まれて初めて目にする。カタクリは百万株、ミズバショウとショウジョウバカマは雑木林 3 ヘクタールに四季の彩りを競っていた。時期は逸したがザゼンソウの群生地もあった。

